

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043101) ドイツ語 I MT(1) German I German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 前期月4,木3	対象年次 1~
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)~(5) Lektion 1 (6)~(9) Lektion 2 (10)~(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)~(20) Lektion 4 (21)~(25) Lektion 5 (26)~(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
この科目は基本的に対面授業を予定していますが、状況によっては遠隔授業になる場合もあります。いつ遠隔になっても対応できるよう、初回は遠隔授業で実施してみます。			
【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。			
教科書・参考書等 『ベルリンに夢中』 ベアーテ・ヴォンデ他著 (同学社)			
オフィスアワー 水曜日1時限目、またはメール等での相談。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043102) ドイツ語 I JA(2) German I German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 前期月3,木2	対象年次 1~
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
(1) ガイダンス (2)~(5) Lektion 1 (6)~(9) Lektion 2 (10)~(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)~(20) Lektion 4 (21)~(25) Lektion 5 (26)~(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
この科目は基本的に対面授業を予定していますが、状況によっては遠隔授業になる場合もあります。いつ遠隔になっても対応できるよう、初回は遠隔授業で実施してみます。			
【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。			
教科書・参考書等			
『ミュンヘンに夢中』 アンドレア・ラーブ他著 (同学社)			
オフィスアワー 水曜日1時限目、またはメール等での相談。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043103) ドイツ語 I JE(3) German I German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 前期水2, 金4	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。			
教科書・参考書等			
『Sprechen und Verstehen』Florian Neumann 著(同学社)			
オフィスアワー 木曜日3時限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043104) ドイツ語 I JE(4) German I German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 前期水2, 金4	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 アルベルス マリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(一回の授業に付き準備30分復習30分)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験 この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。			
教科書・参考書等 『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043105) ドイツ語 I JE(5) German I German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 前期月3,木2	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
(1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。			
教科書・参考書等			
『Sprechen und Verstehen』Florian Neumann 著(同学社)			
オフィスアワー 木曜日3時限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043107) ドイツ語 I M(7) German I German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 前期月3,木2	対象年次 1~
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 アルベルス マリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(一回の授業に付き準備30分復習30分)			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準			
期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
(1) ガイダンス (2)~(5) Lektion 1 (6)~(9) Lektion 2 (10)~(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)~(20) Lektion 4 (21)~(25) Lektion 5 (26)~(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。			
教科書・参考書等			
『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043108) ドイツ語 I M(8) German I German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 前期月3,木2	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 今崎 高秀	関連授業科目 履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(14) 第1課～第6課 (15) 中間試験 (16)～(30) 第7課～第11課 (31) 期末試験 ※受講生の理解度・習熟度に応じて進度を早めます。 ※この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。			
【自学自習のためのアドバイス】 宿題(教科書の練習問題)を課しますので、必ず解いて授業に参加して下さい。授業で練習問題のドイツ語を受講生に読んでもらいますので、正しい発音で読めるよう、教科書付属のCDで発音の練習もして下さい。			
教科書・参考書等 『プロムナード やさしいドイツ語文法(改訂版・CD付)』 著者:荻原耕平・山崎泰孝 白水社 ※辞書については授業で指示します。			
オフィスアワー オフィスアワーは特に設けていませんので、授業について質問等があれば以下の担当教員のアドレスに遠慮なくメールしてください。 imasaki.takahide@kagawa-u.ac.jp			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043109) ドイツ語 I M(9) German I German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 前期月3,木2	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 渡部 祐加	関連授業科目 履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。 (出席と宿題・数回の課題(2000字程度のレポート)の内容を特に重視する)			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す(教科書は必ず買っておくこと)。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。			
(1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていきましょう。			
【特に意欲のあるものへの対応】 特に意欲のあるものが数人以上集まった場合は、希望に応じてオンラインあるいは対面で補講を行う場合があります。 また、ドイツ語学習に対して特に意欲的で学習に対する目標を持っているもの(独検合格を目指しているもの、ドイツ留学を目指しているもの等)に対しても個別に学習のアドバイスをする場合があります。			
教科書・参考書等 Schritte international 1+2. Grammatik fuer japanische Lerner: Deutsch als Fremdsprache (ドイツ語)			

ペーパーバック

ISBN-10 : 319591851X

ISBN-13 : 978-3195918510

オフィスアワー その都度質問・相談はメールで対応する。(質問・相談がある場合は、なるべく授業後すぐに連絡してもらおうとその次の授業で詳しく説明することができるし、必要がある場合はほかのメンバーと共有することができる)。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

成績評価として出席を特に重要視する。ただしオンライン授業のなかで指名したときに、断りもなく席をはずしているということがわかったものはその時点でその授業を欠席とする。遅刻は3回で欠席1回とする。

課題は授業内で2~3回課すことがあるが、1度も提出しない場合は不可とする。

その他、個別のケースに対応する場合がありますので、やむをえない事情を考慮してほしい場合はその都度メールで渡部まで相談すること。

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043201) ドイツ語Ⅱ MT(1) German II German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 後期月4, 木3	対象年次 1～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験 この科目は基本的に対面授業を予定していますが、状況によっては遠隔授業になる場合もあります。いつ遠隔になっても対応できるよう、初回は遠隔授業で実施してみます。 【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。			
教科書・参考書等 『ベルリンに夢中』 ベアーテ・ヴォンデ他著 (同学社)			
オフィスアワー 水曜日1時限目、またはメール等での相談。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043202) ドイツ語Ⅱ JA(2) German II German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 後期月3,木2	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
この科目は基本的に対面授業を予定していますが、状況によっては遠隔授業になる場合もあります。いつ遠隔になっても対応できるよう、初回は遠隔授業で実施してみます。			
【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていきましょう。			
教科書・参考書等			
『ミュンヘンに夢中』 アンドレア・ラーブ他著 (同学社)			
オフィスアワー 水曜日1時限目、またはメール等での相談。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043203) ドイツ語Ⅱ JE(3) German II German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 後期水2, 金4	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン	関連授業科目 履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験 この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。			
教科書・参考書等 『Sprechen und Verstehen』 Florian Neumann 著(同学社)			
オフィスアワー 木曜日3時限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043204) ドイツ語Ⅱ JE(4) German II German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 後期水2, 金4	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 アルベルス マリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(一回の授業に付き準備30分復習30分)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。			
教科書・参考書等 『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043205) ドイツ語Ⅱ JE(5) German II German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 後期月3,木2	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン	関連授業科目 履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験 この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。			
教科書・参考書等 『Sprechen und Verstehen』Florian Neumann 著(同学社)			
オフィスアワー 木曜日3時限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード:043207) ドイツ語Ⅱ M(7) German II German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 後期月3,木2	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 アルベルス マリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(一回の授業に付き準備30分復習30分)			
授業の概要			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準			
期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。			
教科書・参考書等			
『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			
授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043208) ドイツ語Ⅱ M(8) German II German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 後期月3,木2	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 今崎 高秀	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(14) 第12課～第14課 (15) 中間試験 (16)～(30) テキストの読解 (31) 期末試験 ※前期の進度に応じて、後期はテキストの読解を中心に行います(基本文法で構成される初級のテキストから中級レベルへと段階的に上げていきます)。 ※この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。			
【自学自習のためのアドバイス】 前期と同じく毎回宿題を課しますので、必ず準備して授業に参加して下さい。テキストの読解については、文章の構造(主語・動詞・目的語など)をしっかり把握すること、そしてドイツ語が正しく発音できるように準備してください。			
教科書・参考書等 『プロムナード やさしいドイツ語文法(改訂版・CD付)』 著者:荻原耕平・山崎泰孝 白水社			
オフィスアワー オフィスアワーは特に設けていませんので、授業について質問等があれば以下の担当教員のアドレスに遠慮なくメールしてください。imasaki.takahide@kagawa-u.ac.jp			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043209) ドイツ語Ⅱ M(9) German II German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 後期月3,木2	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 渡部 祐加	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応)。			
到達目標			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。 (出席と宿題・数回の課題(2000字程度のレポート)の内容を特に重視する)			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す(教科書は必ず買っておくこと)。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。			
(1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験(状況に応じてレポートに変更する場合があります)			
【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていきましょう。			
【特に意欲のあるものへの対応】 特に意欲のあるものが数人以上集まった場合は、希望に応じてオンラインで補講を行う場合があります。また、ドイツ語学習に対して特に意欲的で学習に対する目標を持っているもの(独検合格を目指しているもの、ドイツ留学を目指しているもの等)に対しても個別に学習のアドバイスをする場合があります。			
教科書・参考書等 Schritte international 1+2. Grammatik fuer japanische Lerner: Deutsch als Fremdsprache(ドイツ語)ペーパーバック			

ISBN-10 : 319591851X

ISBN-13 : 978-3195918510

オフィスアワー その都度質問・相談はメールで対応する。（質問・相談がある場合は、なるべく授業後すぐに連絡してもらおうとその次の授業で詳しく説明することができるし、必要がある場合はほかのメンバーと共有することができる）。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

成績評価として出席を特に重要視する。ただしオンライン授業のなかで指名したときに、断りもなく席をはずしているということがわかったものはその時点でその授業を欠席とする。遅刻は3回で欠席1回とする。

課題は授業内で2～3回課すことがあるが、1度も提出しない場合は不可とする。

その他、個別のケースに対応する場合がありますので、やむをえない事情を考慮してほしい場合はその都度メールで渡部まで相談すること。

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード:043301) ドイツ語Ⅲ (1) German III German III	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 前期月2	対象年次 2～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード:abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 テキスト・プログラム
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 今崎 高秀	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 ドイツ語の初級文法で1年次に学習した事項を復習し、学習しなかった事項も学びながら、ドイツ語の読解力を養成する。			
授業の目的 ドイツ語の初級文法を修得する。初歩的なドイツ語の読解力を確実に身につける。			
到達目標			
平易なドイツ語の文章が読めるようになる。 ドイツ語検定試験3級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。			
成績評価の方法と基準 授業への参加状況が評価の中心になるが、試験の成績も含めて、総合的に評価する。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
<p>テキストを分担して読み進めていく。 (1) オリエンテーション (2)～(15) テキストの読解 (16) 期末試験</p> <p>※まずは初級のテキストで基本文法の確認・復習をし、段階的にレベルを上げていきます。</p> <p>※この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。</p> <p>【自学自習のためのアドバイス】 1年次で学んだ教科書が基本文法の最良の教材となりますので、手元に置いていつでも確認できるようにしておいてください。 また読解(授業の準備)においては、細かい訳語に拘るのは後回しにして、まずは文章の構造(主語・動詞・目的語など)をしっかりと把握すること、そしてドイツ語が正しく発音できるように準備してください。</p>			
教科書・参考書等 プリントを使用する。			
オフィスアワー オフィスアワーは特に設けていませんので、授業について質問等があれば以下の担当教員のアドレスに遠慮なくメールしてください。 imasaki.takahide@kagawa-u.ac.jp			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 予習と出席が必須であることは言うまでもない。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード: 043302) ドイツ語Ⅲ (2) German III German III E(3)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 前期月2	対象年次 2～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 テキスト・プログラム
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 ドイツ語の初級文法で1年次に学習した事項を復習し、学習しなかった事項も学びながら、ドイツ語の読解力を養成する。ドイツの文化や社会を扱ったテキストを読み進めながら、ドイツ語圏の歴史や文化への理解も深める。			
授業の目的 ドイツ語の初級文法を修得する。初歩的なドイツ語の読解力を確実に身につける。			
到達目標			
平易なドイツ語の文章が読めるようになる。 ドイツ語検定試験3級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。			
成績評価の方法と基準 授業への参加状況が評価の中心になるが、試験の成績も含めて、総合的に評価する。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
テキストを分担して読み進めていく。 (1) オリエンテーション (2)～(15) テキストの読解 (16) 期末試験 この科目は基本的に対面授業を予定していますが、状況によっては遠隔授業になる場合もあります。いつ遠隔になっても対応できるよう、初回は遠隔授業で実施してみます。 【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていきましょう。			
教科書・参考書等 教科書:『ドイツ語トライアングル』 荻野他 (同学社) 2000円 参考書:『必携ドイツ文法総まとめ-改訂版-』中島・平尾・朝倉著 (白水社) 初中級の学習に耐える独和辞典(『アポロン』、『アクセス』など、1年次に使用した辞書で可)			
オフィスアワー 水曜1時限目。またはメールでの相談。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 予習と出席が必須であることは言うまでもない。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード: 043303) ドイツ語Ⅲ (3) German III German III E(3)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 前期木3	対象年次 2～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局 : 大教センター DPコード : abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ネット・プログラム
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 渡部 祐加	関連授業科目 履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
授業の概要 ドイツ語の初級文法で1年次に学習した事項を復習し、学習しなかった事項も学びながら、ドイツ語の読解力を養成する。			
授業の目的 ドイツ語の初級文法を修得する。初歩的なドイツ語の読解力を確実に身につける。			
到達目標			
平易なドイツ語の文章が読めるようになる。 ドイツ語検定試験3級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。 (出席と宿題を特に重視する)			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す(教科書は必ず買っておくこと)。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。			
(1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
【自学自習のためのアドバイス】 語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットしていきましょう。			
【特に意欲のあるものへの対応】 特に意欲のあるものが数人以上集まった場合は、希望に応じてオンラインで補講を行う場合がある。また、ドイツ語学習に対して特に意欲的で学習に対する目標を持っているもの(独検合格を目指しているもの、ドイツ留学を目指しているもの等)に対しても個別に学習のアドバイスをする場合がある。			
教科書・参考書等 Schritte International neu: Kurs- und Arbeitsbuch A1.1 mit CD zum Arbeitsbuch (ドイツ語)Max Hueber Verlag (2016/3/1) ISBN-10: 319591851X ISBN-13: 978-3195918510			
オフィスアワー その都度質問・相談はメールで対応する。(質問・相談がある場合は、なるべく授業後すぐに連絡してもらおうとその次の授業で詳しく説明することができるし、必要がある場合はほかのメンバーと共有することができる)。			

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

成績評価として出席を特に重要視する。ただしオンライン授業のなかで指名したときに、断りもなく席をはずしているということがわかったものはその時点でその授業を欠席とする。遅刻は3回で欠席1回とする。その他、個別のケースに対応する場合がありますので、やむをえない事情を考慮してほしい場合はその都度メールで渡部まで相談すること。

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 043304) ドイツ語Ⅲ (4) German III German III	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 前期木3	対象年次 2～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局:大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 テキスト・プログラム
	授業形態 講義	単位数 1	
担当教員名 アルベルス マリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習 (一回の授業に付き準備30分復習30分)			
授業の概要 初級の文法、語彙、会話、読解などを復習して、知識を広める。この授業はドイツ語だけではなく、ドイツの文化や日常生活や地理なども触れる。			
授業の目的 ドイツ語の『読み』『書き』『話す』『聞く』という、言語の4つの能力を総合的に習得し、運用できるようにする。文法や語彙のドリルではなく、楽しみながら、平易なドイツ語のコミュニケーションをできるようにすることを目標とする。そして初級の文法を自然に使えるようになること。			
到達目標			
1. 簡単なドイツ語文章が読めるようになる。 2. 平易なドイツ語のコミュニケーションをできるようになる。 3. 自己紹介をドイツ語でうまく表現できるようになる。 4. ドイツの社会についての知識を広めること。			
成績評価の方法と基準 期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
(1) ガイダンス (2)～(6) Lektion 1～5 (7) 中間試験 (8)～(12) Lektion 6～10 (2)～(14) テキスト (プリント)、コミュニケーション、ゲーム、ビデオなど (15) 期末試験 この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。			
教科書・参考書等 『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード:043401) ドイツ語会話Ⅲ German Conversation III German Conversation III	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 2021年度 前期月1	対象年次 2～
	水準 学士:基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局 :大教センター DPコード :abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ネット・プログラム
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ノイマン フロリアン	関連授業科目 履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 この授業は日常生活に必要な基礎的ドイツ語会話ができるようになることを目標とする。文法中心速く進むとより、学んだ文法を自然に使えるようになることを優先する。一年目で学んだ基礎文法とパターンを繰り返し練習するので、教科書は必ずしも終わらせる必要はない。言語だけではなく、ドイツ事情(歴史、地理、文化、政治など)について話し合う。			
授業の目的 日常生活に必要な基礎的ドイツ語会話ができるようになる。文法の基本を修得する。			
到達目標			
約1000語の語彙練習を前提としてのドイツ語の会話ができる。			
成績評価の方法と基準 評価は試験だけでは行わない。授業中に積極的に発表するなどの授業参加態度を重視する。50%は授業中の積極性、残りは口頭及び筆記試験により評価される。			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
会話の練習を積み重ねる。 (1)～(15) 会話演習 (16) 期末試験 この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。			
教科書・参考書等 プリント配布			
オフィスアワー 初回の授業で説明する。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 会話の授業なので、積極的な参加態度が求められる。			